**() への**

**Ｑ１　にめるのとについて**

　のあるにするが（)にしてどれくらいかというで、ではめていにあり、をきげていくことがきなとされています。

、をめたのが「のにとって」などのもあります。このについてのえをのからおえください。（１つ）

1. に10になるようをきげていくべきである
2. をかけながら10になるようをきげていくべきである
3. 10にはこだわらなくてよい
4. 10にこだわらず、さらにの・をめざす
5. ほぼでよい

のおえのについてにおえください。

●

② をかけながら10になるようをきげていくべきである

ハローワークにおけるがいのやの、でできるをし、くがいは6で47をえ、13でをしました。きき、をにしていきます。

●

① に10になるようをきげていくべきである

のがのできわめていにあるということは、のにして、にりけられるがきわめてないということです。のめ、いをえれば、をにやすことはです。それにもかかわらずが、のを「」とあおって、することはされません。は、て、へのなど、のらしにつにしてうべきです。にもとづき、できるくらしをすることこそ、のであり、です。

●

① に10になるようをきげていくべきである

OECDにおけるのは28(2013)。のはめないとしてものしので①のを。

●の

① に10になるようをきげていくべきである

 にのがなは、しっかりとえるべき。

●

① に10になるようをきげていくべきである

にって、をめていくためにはなのきげがです。

**Ｑ２　のづけへの**

　のとしてがあり、のモニタリングとしてもされているについてのえをのからおえください。（２つまで）

1. はのままでよい
2. のモニタリングとして、がめるようにからのをしたしいをにちげるべきである

③ その

のおえのについてにおえください。

●

 ③ その

は、のをし､があればにをうことができるなです。のかつなのため、のなど､をするのをるべきとえます。

●

② のモニタリングとして、がめるようにからのをしたしいをにちげるべきである

のは、ののをつ、モニタリングとしてのがたされていません。にのデータやの・をおこない、にわかりやすいですることもすすめるべきです。

●

③ その

のについてのをにモニターするにはのにされないしたが。

●の

① はのままでよい

からさせるについては、がとえています。

●

② のモニタリングとして、がめるようにからのをしたしいをにちげるべきである

のをめるためにはからのをしたモニタリングがです。

**Ｑ３－１　ののへの**

　をはじめにわるのや、のなどにやそののがなとなっています。このについてのえをのからおえください。（１つ）

1. にわるに、をの２の１させるべきである
2. にわるに、をおおよその３の１させるべきである
3. にわるでするは、からをうべきである
4. にわるのでは、をくさせるべきであるが、レベルではすればよい
5. その

のおえのについてにおえください。

●

 ⑤ その

にされるがいののために、は「びは、のびののためのをずるにたっては、そのののをき、そのをするようめなければならない」とめております。のをかなものとするべく、をめ、がいののがよりされるのがとえています。

●

① にわるに、をの２の１させるべきである

　がいによって、がしてをすすめることはたりだというれがしました。あらゆるにできるよう、をにして、やいにこたえることはです。

●

② にわるに、をおおよその３の１させるべきである

においてにをぼしうるのラインとして３の１のは。

●の

③ にわるでするは、からをうべきである

やにえやなど、なをすべきです。

●

① にわるに、をの２の１させるべきである

のをしてをめるためにはのメンバーをとすべきです。

**Ｑ３－２　のののへの**

1. にわるに、のをの２の１させるべきである
2. にわるに、のをおおよその３の１させるべきである
3. にわるでするは、のからをうべきである
4. にわるのでは、のをくさせるべきであるが、レベルではすればよい
5. その

のおえのについてにおえください。

●

⑤ その

　Q3-１とじです。

●

① にわるに、のをの２の１させるべきである

にのが２の１してもらうことで、さまざまなケースがされ、なをまえたの、がみえやすくなることにつながります。

●

③ にわるでするは、のからをうべきである

　ともっともなにあるからをき、のとともに、がめるを。

●の

③ にわるでするは、のからをうべきである

やにえやなど、なをすべきです。

●

② にわるに、のをおおよその３の１させるべきである

のもです。についてはのとし３の１をとします。

**Ｑ４－１　とについての**

　（）はとをわし、それにづいて「がい」のがされていますが、このについてのえをのからおえください。（１つ）

1. とはにされた
2. とはややされた
3. とはほとんどされていない
4. とはくされていない

のおえのについてにおえください。

●

② とはややされた

とはにんでいるとしています。えば、5にしたでは、①がいのサービスのをするみの、②もによるをにすることがりまれました。でできるについても、していきたいとえています。

●

④ とはくされていない

がされたときに「」「」にもとづくをいっぺんにするのはしいので、でして、３にすとしました。しかしそのしものをはじめとしたはまったくされず、がにされてしまいました。は、がのでし、はのをけてしったがにまとめたです。はとにもとづいてをするがあります。

●

② とはややされた

のにかかわらない「の」のはされたが、のサービス、へのなど、のは。

●の

② とはややされた

もたゆまずにけてすべきです。

●

③ とはほとんどされていない

のは、のとし、また、をするものではありませんでした。さらに、の、のなど、のにつながりかねないがありです。

**Ｑ４－２　ケアシステムについて**

（）は、「サービスのをする」とし、、、どものニーズをもつたちにし、にサービスをしのをるというケアシステムのえをちしています。そのにはのというがたわっています。このについてのえをのからおえください。（）

①　ケアシステムは、をするものですべきである

②　やをしっかりしたうえで、ニーズによってはできるように、なみとしていくべきである

③　とのもにおかれているで、それぞれののをききばしていくべきである

④　のままでよい

のおえのについてにおえください。

●

①　ケアシステムは、をするものですべきである

　もがみれたでしてをらせるために、、、まい、サービスのをもでにけられるケアシステムをします。また、、がい、などごとにさせてきたサービスについて、・するニーズにするため、それぞれののをまえたのをします。

●

③　とのもにおかれているで、それぞれののをききばしていくべきである

　ケアシステムは、とののために・・どものをするです。をげて、いっそうのの・をねらうものです。それぞれののをいかしていくことが、のをすることにつながります。

●

1. ケアシステムは、をするものですべきである
2. やをしっかりしたうえで、ニーズによってはできるように、なみとしていくべきである
3. とのもにおかれているで、それぞれののをききばしていくべきである

のやのはしっかりとしていくべき。そのでのをニーズによってできるみ。

●の

①　ケアシステムは、をするものですべきである

　な、をめうをくために、ケアシステムをすべきです。

●

① ケアシステムは、をするものですべきである

② やをしっかりしたうえで、ニーズによってはできるように、なみとしていくべきである

がするケアシステムは、のというがく、のがじ、やができないことをにサービスをけることができないがこらないか、・・、ののがあいまいであることから、・のやのがにならないか、によるサービスがしのなどにがないか、によるボランタリーなサービスがをえるサービスとしてするかなど、たくさんのをえています。の、の（データ）、マップづくりによる「える」、が（・）とともにのからニーズをう、、かなにづくをするためのづくり、や、さまざまなとをめにつなげていくなど、ケアシステムのにあたっては、とのとのがです。・・・まい・、そして、ぎのない「ケアシステム」をのでしていきます。「ケアシステム」は、のとしてではなく、くらしをえるなまちづくりとしてりみます。

**Ｑ５　のへの**

がされましたが、もされており、３のしにけたもとされています。このについての４つを、とわれるにべかえてください。

1. へのがまだまだである
2. 3のしのは、・のがめられる
3. 3ののは、のがである
4. このに、はもっとをかけるべきである

のおえのについてにおえください。

●

①④③②

のにより、のなで、がいののがえることがされます。そのためにもまずこのをにすることがです。また、へのとともに、３のしにけてをめていきます。

●

③②④①

には、がにあたるのかというながけちています。すべてのにやのとなるをし、にのやなどのをてられるよう、がです。はされたばかりでににられておらず、のまでするようがです。

●

③②①④

、のがめているびのからのをし、の・のなどをふまえ、の。

●の

のにをつけることはです。

●

③②④①

「とはか」「をというのか」をへのとにりげ、として、さらになをしながらしていくことがです。

**Ｑ６－１　のへの**

　のあるのをさらにやしていくがあります。どうすればがするのか、の５つを、とわれるにべかえてください。

1. などのの
2. などののの
3. やによるへのの
4. やにおける、ジョブコーチをはじめとするや、などのサービスとの
5. その

のおえのについてにおえください。

●

①②④⑤③

などのにより、やにおけるがいはにんでいますが、そので、におけるのやのなどのもあり、さらなるにけてきめかなをじてまいりたいとえます。

●

①④③②

してすべきですが、あえてをつけるならのをまずえて、からまるののさらなるなど、のをやめさせます。やでのサポートをし、できるをやします。

●

④②③①⑤

としてをするために、ジョブコーチの、などへのとのを。そのからのの、と。⑤としてへの。

●の

のにをつけることはです。

●

②③①④

により、ができやすくするためのがとなりました。の、へののとあわせ、のをえていくことがです。また、がいがにできるようをするジョブコーチをやし、がいのくをします。

**Ｑ６－２**

のあるへのとして、のがあります。そのについてどのようなものがあるとえられるか、の５つを、とわれるにべかえてください。

1. なの
2. からへのし
3. （）の、
4. にけたトレーニングの
5. の

のおえのについてにおえください。

●

③、①、④と⑤、②

にづき、(・）がされておりますが、のきげやのについてさらなるがとえます。はがいのののため、がいにづくをしてきましたが、さらなるののため、やのなどをじて、がいがのにじてをにできるよう、へのをめたのにりんでまいります。

●

⑤②③①④

2009に、からのなどでくにもをするがされ、でくにがされたことにがされました。でくもとして、はのをすべきです。がにできるためにも、のをさせるためにもいにすべきです。

●

①②③⑤④

　とののために①②、そのとして③、さらにのために⑤。

●の

のにをつけることはです。

●

①③④②⑤

けはしいです。とののをやし、としてがなされ、でしてができるようをめます。

**Ｑ７　のありへの**

　のあるののありについて、とわれるものを、のえをのからおえください。（２つまで）

1. の
2. の
3. のの
4. くことによるとあわせてのためになをするなの
5. の（のがであるが、のとして）
6. その

のおえのについてにおえください。

●

②⑥

がいのをするでのたすはです。これまではがいのをするみやのなどをしてきましたが、さらに、のにりむとともに、のやをめたがいのなどをじて、のとのをめてまいりたいとえます。

●

②①

すべてですがあえて２つをしました。のげがです。しいやによってなのがおり、にできるようにします。

●

④①

②のをんで、④なの、および①の。

●の

④⑥

きや、いてもがらないみがです。

●

①②

のと、のきげがわれるなかで、にもがんでいます。のはスティグマのないであり、の、できるのはのです。がいのにりみます。

**Ｑ８－１　への**

はのにおいて、のののについて、もそのにみんでいくかのような、をしましたがにはりませんでした。このについてのえをのからおえください。（１つ）

①　でされたにである

②　でされたにである

③　で、やによるがをたない、のえにづいて、のとをとする、へとすべきである

のおえのについてにおえください。

●

① でされたにである

は、がいのをするために、がをじたにし、ののをするものとしています。

●

② でされたにである

ののは、のをないがしろにするったです。められているのは、にをけながら、でたりにらせるです。

●

③　で、やによるがをたない、のえにづいて、のとをとする、へとすべきである。

やのなどの。

●の

① でされたにである

●

② でされたにである

のについて、・のとののでをにします。

**Ｑ８－２　のののありについて**

　はのがのでめていことがであり、モデルからモデルへののがとなっていますが、がでらしていくにはどのようながでしょうか。このについてのえをのからおえください。（２つまで）

①

②　グループホームの（であれば、のはわない）

③　グループホームの（がの）

④　ヘルパー（）の

⑤　の

⑥　にの・

⑦　その

のおえのについてにおえください。

●

⑦

がいのやのについては、のなけであるグループホームのやをめるとともに、がいのにじて、なやなど、をえるサービスがとえます。また、とのがをし、してをめるののや、をするとをけるのにとってなピアサポートの、（ショートステイ）におけるとのなどのみをめていきたいとえます。

●

①⑤

をけながら、グループホームにらず、らしのができるようにすることがです。

●

①⑦

　③をみののにや・のをづけ、および⑦によるピアカウンセリングやづくりの。

●の

①③

のけが。だけでなくでえていくがとえています。

●

①②

がでらしけられるためには、のとなるならしのがです。

**Ｑ９　への**

　2012に、がしましたが、をしたのなどへののから、、などがされており、それらもにみんだしがとなっています。このについてのえをのからおえください。（１つ）

1. に、のにある、、、、ものにめるべきである
2. のにそれらをめるにはまだい
3. その

のおえのについてにおえください。

●

③ その

では、、、におけるのがのやのなどにけられていますが、さらなるのため、のをまえ、やのし、のをしつつ、をめるべきとえます。

●

① に、のにあるり、、、、ものにめるべきである

　なくのがするこれらので、にとりくむことは、のにつながります。

●

① に、のにあるり、、、、ものにめるべきである

もっともならしにかかわる、、のは、ならびにもをけるとしてを。

●の

③ その

　にあるをえるためにも、やによるがとえています。

●

① に、のにあるり、、、、ものにめるべきである

　そもそも、、、、がのかられていることがであり、にとすべきです。

**Ｑ10 ののについての**

　でがもえたいことはでしょうか。におきください。

●

がいがにじてやをできるよう、きめかなをしていきます。には、のをまえ、がいとをえるための・・などの、がいのコミュニケーションのための、や「なき」のをめた域のの、やの、・のなどをします。また、のをまえ、やのにおいてあるのをめます。さらに、2020のパラリンピックのにけて、がいスポーツ・のや、ハード・ソフトにわたるバリアフリーをするとともに、のなどのにりみます。

●

　をしをめざします。「」はし、すみやかに・のをめます。、「」、「」にもとづいて、・やそののがされるのしをはかっていきます。

ながけられないのをなくして、のやをさず、にきげます。

●

・がいのあるのをしたインクルーシブの

・がいケアにたずさわるのの

・として、にされがちながいをもつをはじめ、たちがとしてをされるインクルーシブなをすること。

●の

　にかれたのをとして、、のとをにすること、からをしのにすることがとえています。にがなをしっかりとすることがよりです。

●

　でがされてから７、は2014120にをしました。2009、・・ののにより、にけて、のなによるがまったことはなことでした。2011、の、の。2012、の（の）。2013、の、の。をしながらもこれだけのをげることができました。いよいよ、なからのにけてりみがまります。のである「がいのあるとないがなく、けてられることもなく、でしてできる」をしていきたいといます。そして、がいへのなりいをにし、のを・にけ、にもをめているをテコに、がいのあるもないも、いにめいながらにきるをつくります。そのためにも、がい、のをり、のをさせることをします。